

認定コーチングドクター申請ガイド

(Japan Association for Physician Coaching | JAFPCo)

はじめに

本ガイドは、一般社団法人 日本医師コーチング協会(JAFPCo)が運営する認定コーチングドクター制度について、申請を検討されている医師の方が、手続きや要件を正確に理解できるよう作成したものです。

本制度は、医療者に対するコーチングの質を保証することを目的とした認定制度であり、医師が医療の文脈を踏まえたコーチングを、一定の倫理および専門的基準のもとで実践できることを示します。

認定制度の基盤となる柱については、[ウェブサイトの「活動内容」](#)をご確認ください。

認定までのプロセス

認定は、以下の 6つのステップで行われます。

Step 1: 受験資格確認

申請者が、以下の条件を満たしているかを確認します。

- ①日本の医師免許または歯科医師免許を有していること
- ②日本医師コーチング協会の会員であること、または法人会員である法人に所属していること
- ③一定の基準を満たすコーチングスクールを卒業していること
- ④医師・医療者コーチングに必要とされるコンピテンシー(医師コーチング特有のコーチングスキル、医療の文脈・文化・キャリアパスの理解、多様性・公平性・インクルージョン(DEI)、医師のウェルビーイングとバーンアウト対策、医師のリーダーシップ支援)について研修を受けていること。
- ⑤当協会が定める認定コーチングドクターの倫理規定に同意していること。

※③対象となるコーチングスクールについては、申請前に事務局へお問い合わせください。

※④を満たしていない方に対しては、当協会オンラインコーチング研修を提供します。

Step 2: 受験申請

以下をオンラインで提出します。

- 受験申請(Webフォーム)
- 必要書類(医師免許証の写し、コーチングスクール卒業を証明するもの)
- 受験料の納付(30,000円)

申請内容は事務局で確認し、
受付完了後、申請者へ通知されます。

Step 3: 課題(筆記・実践動画)の提出

以下の課題を提出していただきます。提出方法については、別途メールにてご案内します。

- 筆記課題
 - コーチングに対する理解
 - 医療者特有の問題に対する理解
 - 実践に関する考え方 など
- 実践動画
 - 医療者を対象としたコーチング実践の記録
 - クライアント役は、コーチングスクールに所属した事がない方に限定します。
 - 当協会が作成した、クライアント役の録画提出同意書を使用してください。
 - 当協会が定める倫理規定に基づいて実践してください。

Step 4: 試験の審査

提出された課題について、協会が囑託する専門委員会が審査を行います。
審査は、以下の観点から総合的に評価されます。
審査には1ヶ月程度を要します。

- 認定の3本柱
- 倫理規定の理解と遵守
- 医療の文脈への理解に基づいた実践

Step 5: 協会による承認

審査結果をもとに、協会が定める規定に基づき承認が行われます。
承認後、認定登録の手続きについてメールにてご案内します。

合格基準に満たなかった方に対しては、再提出を求めることがあります。
再提出になった場合の審査期間は、再提出後さらに1ヶ月程度かかります。

Step 6: 認定証発行・認定コーチ登録

- 認定コーチングドクター認定証を発行
- 協会の公式データベースに登録
- ウェブサイトにて公開

登録完了後、

「日本医師コーチング協会認定コーチングドクター」として活動することが可能になります。

費用について

日本医師コーチング協会会費

- 個人会員: 年会費 15,000円
- 法人会員: 年会費 50,000円
- 学生会員: 年会費 5,000円

認定コーチングドクター制度関連費用

- 受験料: 30,000円
- 認定料: 無料
- 再提出となった際の再審査料: 10,000円/回

更新料

- 更新料: 20,000円
- 更新期間: 3年に1回
- 更新要件:
 - 協会が指定するセミナー・勉強会への参加(更新期間3年間のうち、各年1回)
認定コーチングドクターであれば、参加無料です。

お問い合わせ

受験資格、申請手続き、制度内容についてのご質問は、
協会事務局までお問い合わせください。
info@jafpc.or.jp